

福島県における日常食の放射性物質モニタリング調査結果 (平成 24 年度第 3 期)

平成 25 年 6 月 7 日
福島県災害対策本部 (原子力班)

「平成 24 年度福島県における日常食の放射性物質モニタリング調査計画」に基づき、平成 24 年 12 月から平成 25 年 2 月にかけて実施した調査(以下「第 3 期調査」という。)について、放射性セシウムの結果がまとまりましたのでお知らせします。

(調査結果の概要)

第 3 期調査における放射性セシウム (セシウム 134+セシウム 137) 濃度は、すべての検体で食品中の放射性物質の基準値と比べ十分低い値でした。

また、この日常食を摂取した場合の内部被ばく線量は、自然放射性物質によるものと比較しても十分低い値でした。

1 調査の目的

県内 7 方部において、一般家庭の日々の食事 (日常食) に含まれる放射性物質の濃度を調査し、県民の内部被ばく線量を推定・評価するための基礎資料を得ることにより県民の安全・安心を確保する。

2 調査対象の放射性物質

放射性セシウム (セシウム 134、セシウム 137)

(分析機関：財団法人日本分析センター、独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所、福島県原子力センター)

3 調査期間

第 3 期調査 (食事回収期間) : 平成 24 年 12 月 2 日から平成 25 年 2 月 9 日

4 調査対象者

県内 7 方部の一般世帯から選定した 78 人

※第 2 期調査においては調査協力者 1 名 (No. 1) が県外に転居したため 77 人であったが、新たに 1 名 (同方部・同年齢) を選定し、当初計画の 78 人とした。

表 1 調査対象者方部別・年齢別構成 (単位：人)

年齢・区分	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	計
1 1 歳未満	5	7	2	3	1	2	5	25
2 1 歳～12 歳	7	7	2	3	1	2	5	27
3 13 歳以上	6	7	2	3	1	2	5	26
計	18	21	6	9	3	6	15	78

※各方部からの選定人数は、各方部世帯数の概ね 0.01% の割合とした。

※第 1 期調査開始時 (平成 24 年 6 月) の年齢で集計。

5 調査方法

1 日分の朝・昼・夕の 3 食及び間食、飲料、外食等、調査対象者が飲食したもの (母乳は対象外) と同じものを回収し、これらを混合・攪拌して測定試料とした。なお、1 日の食事量が少ない場合 (1 日で 2 リットル未満) は、数日分をまとめて測

定試料とし、1日当たりの食事量[kg/人・日]を算出した。放射性物質の測定にはゲルマニウム半導体検出器を用いた。

6 調査結果

(1) 日常食の放射性セシウム濃度

日常食の放射性セシウム濃度（セシウム 134 とセシウム 137 の合計）の概要は表 2 及び図 1 に示したとおり、78 試料のうち 58 試料（約 74%）で検出され、その濃度範囲は 0.057～5.6Bq/kg・生でした。（詳細は別紙 1）

なお、1Bq/kg・生未満の人数の割合が約 95%を占めています。

表 2 放射性セシウム濃度の測定結果概要（試料数及び測定値等）

核種	試料数	測定結果(Bq/kg・生)	
		検出結果	(検出下限値)
放射性セシウム (セシウム 134+セシウム 137)	20	不検出	—
	58	0.057～5.6	—
セシウム 134	44	不検出	(0.054～0.12)
	34	0.051～2.1	(0.048～0.089)
セシウム 137	20	不検出	(0.055～0.12)
	58	0.057～3.5	(0.045～0.099)

※Bq：ベクレル、kg：キログラム

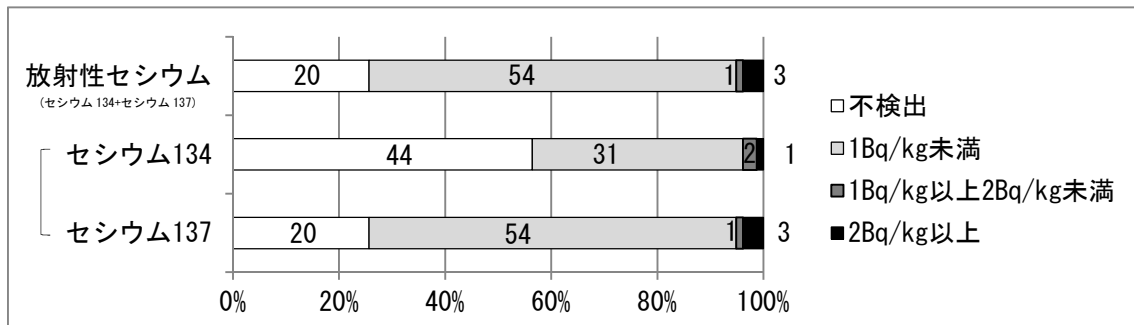


図 1 日常食の放射性セシウム濃度の測定結果概要（試料数）

(2) 日常食から摂取される放射性セシウム量

放射性セシウム濃度と1日当たりの食事量から計算される1日当たりの放射性セシウムの摂取量は、表 3 及び図 2 に示したとおり 0.076～22Bq/人・日でした。（詳細は別紙 2）

なお、3Bq/人・日以上的人数は4名となり、第1期及び第2期調査より多くなりましたが、1Bq/人・日未満の人数の割合は約80%で、第1期及び第2期調査と同程度となっています。

表 3 1日当たりの放射性セシウムの摂取量

放射性セシウム濃度 (Bq/kg・生)	1日当たりの食事量 (kg/人・日)	1日当たりの放射性セシウム 摂取量(Bq/人・日)
不検出～5.6	0.36～4.0	0.076～22

※より安全側に立った評価をするため、セシウム 134、セシウム 137 の濃度が不検出の場合は、検出下限値と同量の放射性セシウムが含まれていると仮定して試算。

※検出下限値は試料によって異なる。

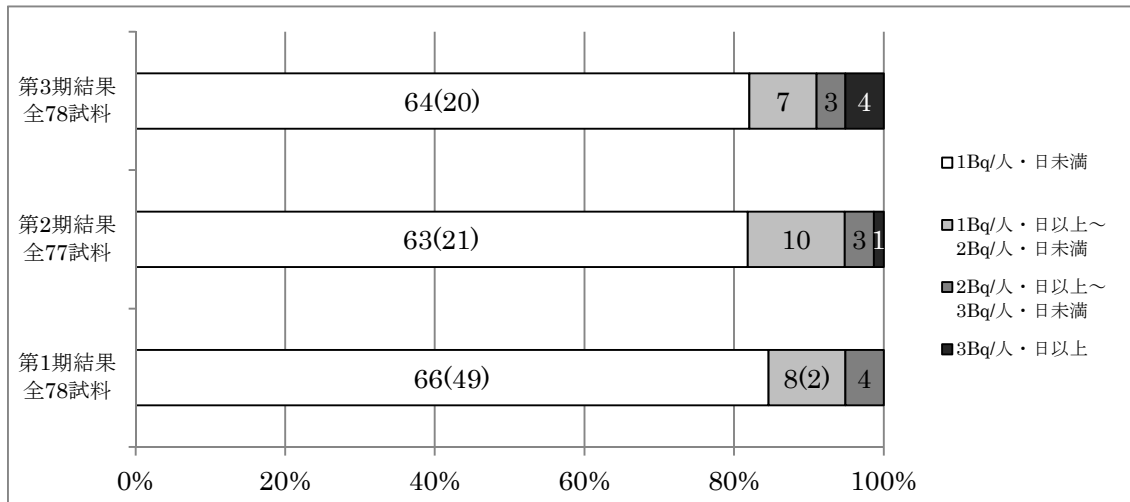


図2 日常食から摂取される放射性セシウム量の測定結果概要 (試料数)

※()内の数値は、放射性セシウムが不検出であった試料の内数。

7 考察

(1) 放射性セシウム濃度について (表4参照)

第3期調査における放射性セシウム濃度の最大値は5.6Bq/kg・生 (セシウム134 2.1Bq/kg + セシウム137 3.5Bq/kg) であり、食品中の放射性セシウム基準値と比較し、十分低い値でした。

表4 基準値の比較 (放射性セシウム濃度 : Bq/kg・生)

第3期調査結果	食品中の放射性セシウムの基準値	食品基準値との比較
不検出 ~ 5.6	一般食品 : 100、乳幼児食品 : 50、 牛乳 : 50、飲料水 : 10	十分低い

(2) 放射性セシウム摂取量について (表5及び図3参照)

○第3期調査で1日当たりに摂取される放射性セシウム量の最大値は、22Bq/人・日でした。これは、事故発生前の調査結果の最大値4.4Bq/人・日 (セシウム137摂取量) を上回っていますが、第2期調査の最大値であった380Bq/人・日と比べ低い値となっています。

表5 過去の調査結果との比較 (放射性セシウム摂取量 : Bq/人・日)

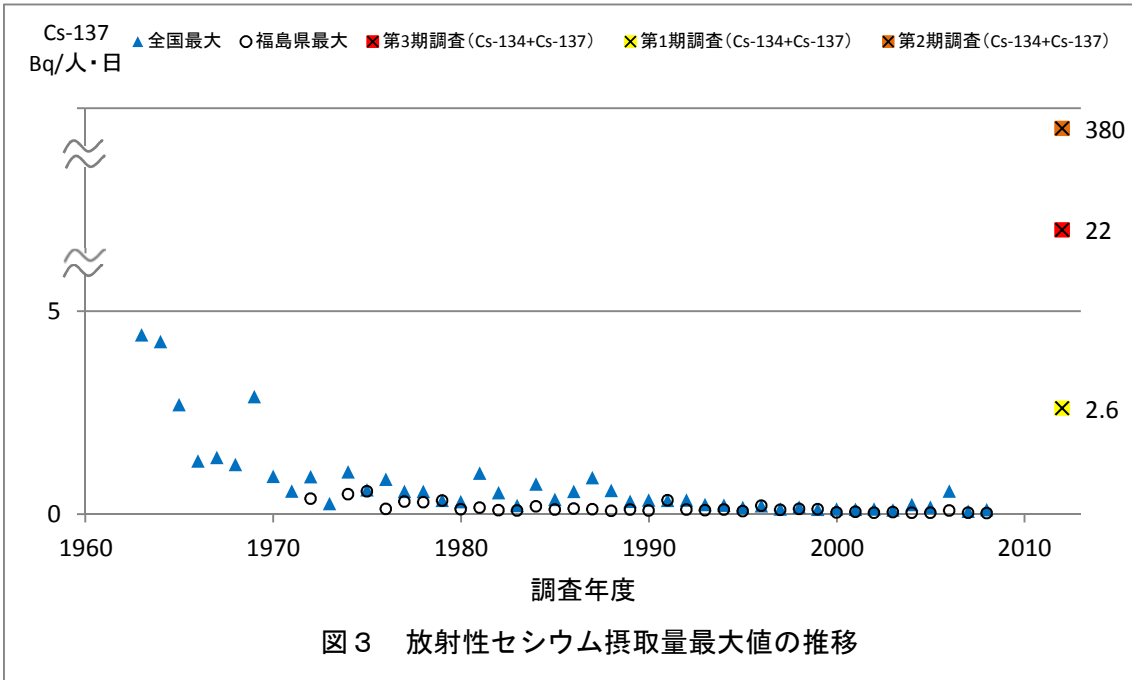
平成24年度 第3期調査結果	過去の最大値 (事故発生前)		最近10年間の最大値 (事故発生前)		平成24年度調査 (事故後)	
	全国	福島県	全国	福島県	第2期調査	第1期調査
0.076 ~ 22	4.4 (1963年度)	0.56 (1975年度)	0.56 (2006年度)	0.11 (1999年度)	最大値 380	最大値 2.6

※最近10年間の最大値 ; 1999年度～2008年度の環境放射能水準調査の最大値。

※過去最大 ; 1963年度～2008年度の環境放射能水準調査の最大値。

※事故発生前の最大値はセシウム137のみ。

※平成24年度調査の最大値はセシウム134とセシウム137の合計値。



※「文部科学省“環境放射線データベース” <http://search.kankyo-hoshano.go.jp/servlet/search.top> (参照 2012-07-27)」により作成。

(3) 預託実効線量の試算

○第3期調査の日常食を仮に1年間食べ続けた場合、放射性セシウム摂取による内部被ばく線量(預託実効線量※1)を試算すると、最大値は0.12mSv/年(※2)でした。(詳細は別紙2)

(※1)預託実効線量：摂取した放射性物質から50年(こどもは70年)間に受ける内部被ばく線量。

(※2)より安全側に立った評価をするため、セシウム134、セシウム137の濃度が不検出の場合には、検出下限値と同量の放射性セシウムが含まれていると仮定して試算。

○この最大値(0.12mSv)は、国が食品の基準値設定の際に示した「放射性物質を含む食品からの被ばく線量の上限 年間1mSv」と比較して十分低い値でした。

○また、日本人が、もともと食品中に含まれる自然放射性核種(カリウム40等)から受ける内部被ばく線量(年間約0.98mSv)と比較しても十分低い値でした。

(表6を参照)

表6 放射性セシウム等の摂取による内部被ばく線量の比較

第3期調査 (mSv)	国が示した「放射性物質を含む食品からの被ばく線量の上限」 (mSv)	自然放射性核種による内部被ばく (mSv)	比較
0.00054 ~ 0.12	1	0.98 (※)	十分低い

(※)「新版・生活環境放射線(国民線量の算定)」(原子力安全研究協会、2011年12月)より引用。自然放射性核種の経口摂取による内部被ばく線量は、主に鉛210、ポロニウム210から0.80mSv/年、カリウム40から0.18mSv/年など、合計約0.98mSv/年。

○なお、今回調査の最大値（0.12mSv/年）となった調査対象者（県北地方）については、第2期調査においても最大値（2.1mSv/年）を示しておりますが、これまで3回の調査結果をもとに、食事の摂取期間を四半期毎に分割した場合の内部被ばく線量（預託実効線量）の試算値は、第1期から第3期までの9ヵ月間において0.558mSvになると考えられます。

表7 第2期調査において試算値が年間1mSvを上回った対象者について

No.	方部	年齢区分	調査時期	調査核種と濃度 (Bq/kg・生)	1日当たりの摂取量 (Bq/人・日)	内部被ばく線量 (mSv)		四半期毎の合計値 (mSv)
						1年間摂取の場合	四半期摂取の場合	
16	県北	3	第3期	Cs 5.6	22	0.12	0.030	0.558 (9ヵ月間の試算値)
			第2期	Cs 150	380	2.1	0.525	
			第1期	Cs 0.95	2.0	0.012	0.003	
				Sr 不検出	—	—	—	
				Pu 不検出	—	—	—	

調査時期 第1期 平成24年6月、第2期 平成24年9月、第3期 平成24年12月

8 今後の予定

日常食に含まれる放射性物質の年間の推移を把握するため、第3期調査に御協力いただいた方を対象に、引き続き第4期調査を実施しました。(平成25年3~4月) これらの調査結果についても、結果がまとまり次第お知らせします。

9 県民の皆様へ

県民の皆様におかれましては、食品からの内部被ばく線量をできるだけ低く抑えるため、自生するきのこ等、市場に流通しない食材の消費に当たり不安がある場合は、市町村等で行っている放射能簡易検査を御活用いただきますようお願いいたします。

（放射能簡易検査に係る県ホームページアドレス：

http://wwwcms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=32433

（問い合わせ先 福島県災害対策本部（原子力班） 電話 024-521-1917）

第3期日常食調査分析結果(放射性セシウム濃度)

No.	方部	年齢区分	Cs-134 [Bq/kg]		Cs-137 [Bq/kg]		放射性セシウム (Cs-134+Cs-137) [Bq/kg]	(参考)		
			濃度	検出下限値	濃度	検出下限値		I-131 [Bq/kg]		K-40 [Bq/kg]
							濃度	検出下限値	濃度	
1	県北	1	不検出	0.072	不検出	0.055	不検出	不検出	0.058	28
2	県北	1	0.19	0.072	0.34	0.058	0.53	不検出	0.066	42
3	県北	1	不検出	0.10	不検出	0.082	不検出	不検出	0.067	26
4	県北	1	0.24	0.089	0.51	0.081	0.75	不検出	0.070	27
5	県北	1	0.12	0.074	0.24	0.058	0.36	不検出	0.054	22
6	県北	2	1.7	0.088	2.9	0.074	4.6	不検出	0.077	28
7	県北	2	0.58	0.082	1.0	0.062	1.6	不検出	0.062	27
8	県北	2	不検出	0.11	不検出	0.082	不検出	不検出	0.072	35
9	県北	2	不検出	0.067	0.057	0.055	0.057	不検出	0.054	40
10	県北	2	0.28	0.066	0.55	0.053	0.83	不検出	0.049	30
11	県北	2	不検出	0.11	不検出	0.094	不検出	不検出	0.081	39
12	県北	2	不検出	0.067	0.062	0.054	0.062	不検出	0.055	27
13	県北	3	0.18	0.078	0.31	0.057	0.49	不検出	0.051	38
14	県北	3	0.33	0.084	0.65	0.060	0.98	不検出	0.064	27
15	県北	3	0.30	0.078	0.65	0.054	0.95	不検出	0.049	38
16	県北	3	2.1	0.075	3.5	0.068	5.6	不検出	0.061	50
17	県北	3	0.17	0.073	0.28	0.060	0.45	不検出	0.056	25
18	県北	3	0.26	0.072	0.49	0.055	0.75	不検出	0.053	40
19	県中	1	不検出	0.096	0.11	0.063	0.11	不検出	0.058	31
20	県中	1	不検出	0.066	0.064	0.055	0.064	不検出	0.048	22
21	県中	1	不検出	0.061	不検出	0.065	不検出	不検出	0.050	29
22	県中	1	不検出	0.054	0.11	0.045	0.11	不検出	0.060	28
23	県中	1	不検出	0.071	不検出	0.057	不検出	不検出	0.051	33
24	県中	1	不検出	0.067	0.11	0.047	0.11	不検出	0.045	26
25	県中	1	不検出	0.073	0.099	0.054	0.099	不検出	0.055	24
26	県中	2	不検出	0.086	0.15	0.064	0.15	不検出	0.065	27
27	県中	2	不検出	0.087	不検出	0.056	不検出	不検出	0.053	26
28	県中	2	0.13	0.079	0.26	0.056	0.39	不検出	0.056	30
29	県中	2	0.069	0.056	0.076	0.063	0.15	不検出	0.051	33
30	県中	2	0.13	0.078	0.24	0.061	0.37	不検出	0.060	24
31	県中	2	不検出	0.070	0.15	0.055	0.15	不検出	0.048	38
32	県中	2	不検出	0.078	0.13	0.049	0.13	不検出	0.058	39
33	県中	3	0.098	0.075	0.23	0.056	0.33	不検出	0.055	23
34	県中	3	不検出	0.077	不検出	0.072	不検出	不検出	0.063	37
35	県中	3	不検出	0.064	0.093	0.057	0.093	不検出	0.057	48
36	県中	3	0.13	0.075	0.23	0.054	0.36	不検出	0.047	33
37	県中	3	1.3	0.074	2.4	0.059	3.7	不検出	0.064	45
38	県中	3	0.10	0.076	0.11	0.077	0.21	不検出	0.063	32
39	県中	3	不検出	0.084	0.097	0.060	0.097	不検出	0.051	47
40	県南	1	0.12	0.087	0.23	0.091	0.35	不検出	0.099	25
41	県南	1	0.20	0.083	0.38	0.085	0.58	不検出	0.096	32
42	県南	2	不検出	0.10	不検出	0.12	不検出	不検出	0.12	40
43	県南	2	0.051	0.048	0.097	0.057	0.15	不検出	0.068	33
44	県南	3	0.087	0.087	0.18	0.099	0.27	不検出	0.096	29
45	県南	3	0.14	0.082	0.14	0.092	0.28	不検出	0.10	41

No.	方 部	年 齢 区 分	Cs-134 [Bq/kg]		Cs-137 [Bq/kg]		放射性セシウム (Cs-134+Cs-137) [Bq/kg]	(参考)		
								I-131 [Bq/kg]		K-40 [Bq/kg]
			濃度	検出下限値	濃度	検出下限値	濃度	濃度	検出下限値	濃度
46	会津	1	不検出	0.11	0.10	0.074	0.10	不検出	0.065	31
47	会津	1	不検出	0.064	不検出	0.056	不検出	不検出	0.064	19
48	会津	1	不検出	0.082	不検出	0.076	不検出	不検出	0.069	33
49	会津	2	不検出	0.12	0.16	0.089	0.16	不検出	0.082	45
50	会津	2	不検出	0.089	0.12	0.072	0.12	不検出	0.072	38
51	会津	2	0.21	0.078	0.29	0.067	0.50	不検出	0.082	25
52	会津	3	不検出	0.098	不検出	0.11	不検出	不検出	0.062	22
53	会津	3	0.18	0.064	0.26	0.054	0.44	不検出	0.048	45
54	会津	3	0.23	0.088	0.43	0.073	0.66	不検出	0.064	33
55	南会津	1	不検出	0.12	不検出	0.092	不検出	不検出	0.074	18
56	南会津	2	不検出	0.062	0.085	0.054	0.085	不検出	0.054	27
57	南会津	3	0.16	0.081	0.29	0.068	0.45	不検出	0.068	37
58	相双	1	不検出	0.072	0.096	0.063	0.096	不検出	0.060	20
59	相双	1	不検出	0.089	0.069	0.063	0.069	不検出	0.052	22
60	相双	2	0.35	0.062	0.55	0.053	0.90	不検出	0.066	32
61	相双	2	0.15	0.065	0.30	0.053	0.45	不検出	0.055	35
62	相双	3	不検出	0.070	不検出	0.092	不検出	不検出	0.061	19
63	相双	3	0.17	0.073	0.36	0.065	0.53	不検出	0.072	24
64	いわき	1	不検出	0.084	0.15	0.068	0.15	不検出	0.061	22
65	いわき	1	0.068	0.066	0.13	0.057	0.20	不検出	0.057	34
66	いわき	1	不検出	0.12	不検出	0.11	不検出	不検出	0.11	8.8
67	いわき	1	不検出	0.088	不検出	0.077	不検出	不検出	0.071	26
68	いわき	1	0.097	0.087	0.18	0.070	0.28	不検出	0.086	37
69	いわき	2	不検出	0.091	0.13	0.067	0.13	不検出	0.064	32
70	いわき	2	不検出	0.11	0.090	0.080	0.090	不検出	0.070	39
71	いわき	2	不検出	0.067	不検出	0.065	不検出	不検出	0.054	16
72	いわき	2	不検出	0.095	0.070	0.070	0.070	不検出	0.058	30
73	いわき	2	不検出	0.079	不検出	0.067	不検出	不検出	0.080	14
74	いわき	3	不検出	0.11	0.12	0.095	0.12	不検出	0.086	40
75	いわき	3	不検出	0.076	不検出	0.069	不検出	不検出	0.067	25
76	いわき	3	不検出	0.091	不検出	0.067	不検出	不検出	0.080	30
77	いわき	3	0.10	0.082	0.12	0.063	0.22	不検出	0.065	31
78	いわき	3	不検出	0.078	0.12	0.072	0.12	不検出	0.056	29

※年齢区分1は1歳未満、2は1歳～12歳、3は13歳以上を表す。なお、第1期調査開始時の年齢により区分した。

※測定濃度及び検出下限値は、それぞれの試料を採取した期間の最終日の12時に減衰補正した(ただし、I-131の検出下限値を除く)。

※検出下限値を下回る場合、不検出と記載。本表の放射性セシウム濃度は、Cs-134、Cs-137の濃度が不検出の場合は、0Bq/kgと仮定した。

※測定環境等の違いにより、各分析機関及び検体毎に検出下限値が異なる。

※参考のため、I-131(ヨウ素131)なども測定したが、上記以外の人工放射性核種(ガンマ線放出核種)は不検出であった。

※K-40(カリウム40);自然放射性核種

第3期日常食調査結果(1日当たりの放射性セシウム摂取量等)

No.	方部	年齢区分	摂取量等算出に用いる放射性セシウム濃度 [Bq/kg]		1日当たりの食事量 [kg/人・日]	1日当たりの放射性セシウム摂取量 [Bq/人・日]	1年間の放射性セシウム摂取による預託実効線量 [mSv]	1日当たりのK-40摂取量 [Bq/人・日]
			Cs-134	Cs-137				
1	県北	1	0.072	0.055	0.89	0.11	0.00098	25
2	県北	1	0.19	0.34	0.96	0.51	0.0025	41
3	県北	1	0.10	0.082	0.70	0.13	0.00067	18
4	県北	1	0.24	0.51	0.81	0.61	0.0030	22
5	県北	1	0.12	0.24	0.88	0.32	0.0026	19
6	県北	2	1.7	2.9	1.2	5.5	0.023	33
7	県北	2	0.58	1.0	1.9	3.0	0.015	50
8	県北	2	0.11	0.082	0.64	0.12	0.00063	23
9	県北	2	0.067	0.057	1.4	0.17	0.00071	55
10	県北	2	0.28	0.55	2.6	2.2	0.0089	76
11	県北	2	0.11	0.094	1.7	0.35	0.0016	69
12	県北	2	0.067	0.062	1.3	0.17	0.00087	36
13	県北	3	0.18	0.31	2.0	0.98	0.0055	76
14	県北	3	0.33	0.65	1.9	1.9	0.010	51
15	県北	3	0.30	0.65	2.4	2.3	0.012	93
16	県北	3	2.1	3.5	4.0	22	0.12	198
17	県北	3	0.17	0.28	2.3	1.0	0.0058	58
18	県北	3	0.26	0.49	2.8	2.1	0.011	112
19	県中	1	0.096	0.11	0.94	0.19	0.0016	29
20	県中	1	0.066	0.064	2.8	0.36	0.0019	63
21	県中	1	0.061	0.065	1.1	0.14	0.00068	30
22	県中	1	0.054	0.11	0.81	0.13	0.00064	22
23	県中	1	0.071	0.057	1.3	0.17	0.00086	43
24	県中	1	0.067	0.11	1.7	0.30	0.0015	45
25	県中	1	0.073	0.099	1.2	0.21	0.0017	29
26	県中	2	0.086	0.15	1.4	0.33	0.0016	37
27	県中	2	0.087	0.056	1.2	0.17	0.00073	31
28	県中	2	0.13	0.26	2.0	0.78	0.0032	60
29	県中	2	0.069	0.076	1.9	0.28	0.0012	62
30	県中	2	0.13	0.24	1.7	0.63	0.0026	42
31	県中	2	0.070	0.15	1.5	0.33	0.0013	58
32	県中	2	0.078	0.13	1.2	0.25	0.0010	48
33	県中	3	0.098	0.23	4.0	1.3	0.0071	92
34	県中	3	0.077	0.072	2.1	0.31	0.0018	75
35	県中	3	0.064	0.093	2.4	0.38	0.0021	115
36	県中	3	0.13	0.23	2.1	0.76	0.0043	72
37	県中	3	1.3	2.4	2.2	8.1	0.045	100
38	県中	3	0.10	0.11	1.6	0.34	0.0020	51
39	県中	3	0.084	0.097	2.1	0.38	0.0022	98
40	県南	1	0.12	0.23	1.7	0.60	0.0029	42
41	県南	1	0.20	0.38	1.7	0.99	0.0049	55
42	県南	2	0.10	0.12	0.83	0.18	0.00074	33
43	県南	2	0.051	0.097	0.74	0.11	0.00054	24
44	県南	3	0.087	0.18	1.3	0.35	0.0019	39
45	県南	3	0.14	0.14	3.1	0.87	0.0050	127

No.	方部	年齢区分	摂取量等算出に用いる放射性セシウム濃度 [Bq/kg]		1日当たりの食事量 [kg/人・日]	1日当たりの放射性セシウム摂取量 [Bq/人・日]	1年間の放射性セシウム摂取による預託実効線量 [mSv]	1日当たりのK-40摂取量 [Bq/人・日]
			Cs-134	Cs-137				
46	会津	1	0.11	0.10	0.93	0.20	0.0010	29
47	会津	1	0.064	0.056	1.4	0.17	0.00084	26
48	会津	1	0.082	0.076	1.5	0.24	0.0012	50
49	会津	2	0.12	0.16	1.2	0.34	0.0017	54
50	会津	2	0.089	0.12	2.1	0.44	0.0018	79
51	会津	2	0.21	0.29	1.8	0.90	0.0039	46
52	会津	3	0.098	0.11	2.8	0.58	0.0033	61
53	会津	3	0.18	0.26	1.5	0.66	0.0037	66
54	会津	3	0.23	0.43	2.5	1.7	0.0092	83
55	南会津	1	0.12	0.092	0.36	0.076	0.00067	6.5
56	南会津	2	0.062	0.085	1.6	0.24	0.0010	44
57	南会津	3	0.16	0.29	2.5	1.1	0.0063	94
58	相双	1	0.072	0.096	1.3	0.22	0.0019	27
59	相双	1	0.089	0.069	1.1	0.17	0.0016	25
60	相双	2	0.35	0.55	1.2	1.1	0.0042	37
61	相双	2	0.15	0.30	1.5	0.68	0.0029	54
62	相双	3	0.070	0.092	2.2	0.36	0.0020	41
63	相双	3	0.17	0.36	2.6	1.4	0.0076	63
64	いわき	1	0.084	0.15	1.3	0.30	0.0015	28
65	いわき	1	0.068	0.13	1.4	0.28	0.0013	47
66	いわき	1	0.12	0.11	0.62	0.14	0.00074	5.5
67	いわき	1	0.088	0.077	1.3	0.21	0.0011	33
68	いわき	1	0.097	0.18	0.89	0.25	0.0012	33
69	いわき	2	0.091	0.13	1.4	0.31	0.0012	44
70	いわき	2	0.11	0.090	0.86	0.17	0.00072	34
71	いわき	2	0.067	0.065	2.4	0.32	0.0013	39
72	いわき	2	0.095	0.070	1.5	0.25	0.0011	46
73	いわき	2	0.079	0.067	1.7	0.25	0.0010	23
74	いわき	3	0.11	0.12	1.5	0.35	0.0020	60
75	いわき	3	0.076	0.069	2.3	0.33	0.0020	58
76	いわき	3	0.091	0.067	2.1	0.33	0.0020	62
77	いわき	3	0.10	0.12	2.7	0.59	0.0034	83
78	いわき	3	0.078	0.12	2.4	0.48	0.0027	71

※年齢区分1は1歳未満、2は1歳～12歳、3は13歳以上を表す。なお、第1期調査開始時の年齢により区分した。
 ※本表の摂取量等算出に用いる放射性セシウム濃度は、より安全側に立った評価をするため、Cs-134、Cs-137の濃度が不検出の場合は、検出下限値の放射性セシウムが含まれていると仮定した。これらの値を用いて放射性セシウム摂取量及び預託実効線量を算出した(有効数字2桁)。
 ※放射性物質摂取による預託実効線量(放射性物質摂取後、それが体内からなくなるまでの間の総内部被ばく線量)は、「環境放射線モニタリング指針」(平成20年3月、原子力安全委員会)に基づき試算した。計算式は

$$1年間の放射性セシウム摂取による預託実効線量[mSv] = (本表のCs-134濃度[Bq/kg] \times Cs-134の換算係数[mSv/Bq] + 本表のCs-137濃度[Bq/kg] \times Cs-137の換算係数[mSv/Bq]) \times 1日当たりの食事量[kg/人 \cdot 日] \times 365.25$$

 換算係数は国際放射線防護委員会(ICRP)「Publication 72」(1996)によった。
 Cs-134の換算係数[mSv/Bq]:0歳が0.000026、1～2歳が0.000016、3～7歳が0.000013、8～12歳が0.000014、13歳以上が0.000019。
 Cs-137の換算係数[mSv/Bq]:0歳が0.000021、1～2歳が0.000012、3～7歳が0.0000096、8～12歳が0.00001、13歳以上が0.000013。
 なお、預託実効線量の試算に当たっては、食事回収時の実年齢に応じた換算係数を使用した。